

金 時 山 登 山



去る5月11日（木）、VIVOメンバー男女8人は、朝8:00 ちょうどに、東上線東松山駅西口を、車1台に同乗して出発しました。日頃の行いが良いと自称する晴れ男、晴れ女がメンバーであるためか、この日は、真っ青な空に雲ひとつ無い好天に恵まれました。予定では、第1日目のこの日は、神奈川県と静岡県の県境にある「金時山（高さ1,213m）」に登り、夜は、山中湖畔の宿に一泊することになっていました。

車は、まず、関越自動車道の東松山インターから入り、圏央道で中央高速道東名高速道を一気に突っ切り、午前11時頃には、相模湾が見える茅ヶ崎に達しました。茅ヶ崎海岸の「道の駅」では、左手に江ノ島の島影を見つつ、地



球の円い地平線の半分かと思えるほどの広大な太平洋を見て、一休みする事が出来ました。

その後、小田原を経由して国道1号から国道138号を北上して箱根、仙石原の登山口に車を駐車し、「金時山」への登山を開始しました。登りの岩場の

急激な勾配を約2時間、最近、急に年をとって体力の衰えを感じる私には息が切れる辛いものでした。しかしながら、7合目、8合目あたりまでくると、真っ青の空の下、はるか遠くに見える「芦ノ湖」と、「大涌谷」から立昇る白い噴煙の眺めは、素晴らしいものでした。また、この日は、好天に恵



まれたせいか行き交う登山者も多く、若い男女、お年寄りの御夫妻、それに出来れば御一緒したくなったスイスから日本に観光に来たという若い女性二人組など、多くの方々に御挨拶しながらの楽しい登山行でした。約1,200mの頂上にやっと達すると、目の前に、少し雲がかかり、まだ少し雪を残した巨大な富士山が真正面に迫って来てその強烈な迫力に感激しました。この「金時山」の頂上で、富士山を正面に見ながら、例によって、途中の「道の駅」で購入したお弁当を開いておしゃべり昼食パーティーを行いました。また、この頂上の売店には、金時娘と言われる美人で有名な女性（現在、約80才位？とのこと。）がいるとのことでしたが残念ながら今回、私はお会い出来ませんでした。

午後2時頃、この頂上での昼食パーティー終了後、仙石原登山口まで下山して、国道138号を一気に北上し、山中湖畔の宿



に到着したのは夕方の5時頃でした。

夜、宿の夕食を済ませて

から、メンバーの1室に全員集合して宴会を始めたところ、男性メンバーの一

人が、昔の現役時代に営業をやっていた時の座敷芸（お盆を使ったかつぽれ踊り）を披露して、盛り上がりました。昔の営業の御苦勞が忍ばれました。



翌日の2日目、5月12日（金）の空も朝から真っ青の絶好の好天気で、山中湖畔の宿の周囲は、どこも新緑の緑に囲まれていきいきとしていました。そこで朝食後は、皆で宿のベランダに出て、はるかに続く新

緑の雑木林を見ながらコーヒーパーティを楽しみました。この2日目は、その後、山中湖畔の「忍野八海」を見物し、さらに、本栖湖近くで開催されていた「富士芝桜まつり」の芝桜を堪能しました。

「芝桜まつり」で見渡す限りの岡一面に咲いた真っ赤や白色の芝桜は、正面に見える富士山と共に素晴らしい風景でした。



その後、中央高速道、圏央道、関越道を通って、東上線東松山駅西口に帰着したのは、夕方の5時頃でした。この2日間の旅行で、メンバーには、多少の疲れは残りましたが、相模湾の太平洋から始まって、「金時山」登山、山中湖畔の宿、忍野八海、それに富士芝桜まつり、さらにどこへ行っても雄大な富士山と、萌えるような新緑に囲まれて楽しい旅行でした。

この旅行の実施にお骨折り頂いた幹事の皆さんに心から感謝します。有難うございました。



頂上に立つ8人衆



スペシャルサービスの、筆リンドウ

記 : 松山

写真 : 横川